

JAPANESE  
HEART  
FAILURE  
• SOCIETY

JAPANESE HEART FAILURE SOCIETY

日本心不全学会

*News Letter*

Vol.10, No.3, 2006

発行：2006年9月1日  
日本心不全学会  
Japanese Heart Failure Society  
<http://www.jhfs.gr.jp/>

CONTENTS

1

第10回 日本心不全学会学術集会のご案内

3

第11回 La Jolla-Capri-Yamaguchi-Seoul Research Conference案内

5

第1回 国際心筋症・心不全学会案内

9

第71回 日本循環器学会総会・学術集会案内

12

2006年度日本心不全学会・総会 議案書

20

関連学会案内、事務局より

- 名誉会員  
北島 顯 木心全一 篠山重威 竹越 襄 竹下 彰 外山淳治 松尾裕英  
矢崎義雄 吉川純一

日本心不全学会組織

- 理事長  
堀 正二
- 理事  
和泉 徹 磯部光章 井上 博 今泉 勉 大江 透 小川 聡 笠貫 宏  
白土邦男 筒井裕之 鄭 忠和 友池仁暢 土居義典 永井良三 菱田 仁  
藤原久義 松崎益徳 松田 暉 山口 巖 横山光宏
- 監事  
砂川賢二 藤田正俊
- 評議員  
相澤義房 青沼和隆 麻野井英次 東 純一 安達 仁 飯島俊彦 井内和幸  
池田宇一 石川利之 石川義弘 石田良雄 石橋 豊 和泉 徹 磯部光章  
磯山正玄 一色高明 伊藤一輔 伊藤隆之 伊藤 宏 伊藤正明 井上 博  
猪又孝元 今泉 勉 岩坂壽二 岩瀬三紀 上嶋健治 上田清悟 上松正朗  
臼田和生 遠藤政夫 大塚邦明 大塚定徳 大塚知明 大木 崇 大草知子  
大久保信司 大津欣也 大塚邦明 大塚定徳 大塚知明 大手信之 大西勝也  
大森浩二 大柳光正 岡本 洋 小川研一 小川 聡 小川久雄 落合久夫  
小野幸彦 甲斐久史 加賀谷豊 柿木滋夫 小西 孝 梶谷定志 加藤法喜  
金子 昇 加納達二 川口秀明 川嶋成乃亮 河野 了 河野 了 神原啓文  
菊池健次郎 岸田 浩 木島祥行 北 徹 北浦 泰 北風政史 木原康樹  
木村一雄 木村玄次郎 許 俊鋭 楠岡英雄 小玉 誠 倉林正彦 上月正博  
河野雅和 甲谷哲郎 児玉逸雄 小玉 誠 是恒之宏 犀川哲典 斎藤能彦 小林直彦  
小林洋一 駒村和雄 小室一成 佐久間一郎 佐々木達哉 島田俊夫 島本和明 曾根孝仁 斎藤能彦  
酒井 俊 朔啓二郎 島田和幸 清野精彦 高野昭夫 竹村元三 高橋利之 高橋正明 佐藤幸人  
澤 芳樹 重松裕二 住吉徹哉 鷹津久登 武智 茂 近森大志郎 富田篤志 中谷武嗣 中村元行  
砂川賢二 高田 淳 武田信彬 玉木長良 土居義典 中谷武嗣 西村恒彦 野原隆司 塙 晴雄 菱田 仁  
高田 淳 武田信彬 玉木長良 土居義典 中谷武嗣 西村恒彦 野原隆司 塙 晴雄 菱田 仁  
福山尚哉 堀川良史 松浦秀夫 松森 昭 三田村秀雄 室原豊明 矢崎善一 山口清司 吉川 勉 渡辺 淳  
藤井 聡 本田 喬 松岡博昭 丸山幸夫 光藤和明 毛利正博 安村良男 山科 章 吉田 章 渡部秀人

(50音順、敬称略)

賛助会員一覧 (平成18年6月30日現在、50音順)

- あ アステラス製薬株式会社 アストラゼネカ株式会社 エーザイ株式会社 大塚製薬株式会社
- い 塩野義製薬株式会社
- た 第一アスピオファーマ株式会社 第一製薬株式会社 大正富山医薬品株式会社 大日本住友製薬株式会社 武田薬品工業株式会社 田辺製薬株式会社 帝人ファーマ株式会社
- な 日本化薬株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 日本メジフィジクス株式会社
- は 万有製薬株式会社 ファイザー株式会社 フクダ電子株式会社 三菱ウェルファーマ株式会社
- ひ バイエル薬品株式会社

第10回日本心不全学会学術集会のご案内

第10回日本心不全学会学術集会  
会長 和泉 徹  
(北里大学医学部循環器内科学)

まもなく、平成18年10月13日(金)～15日(日)の三日間、都市センターホテルにて第10回日本心不全学会学術集会が開かれます。今回のテーマは“心不全を予防する”を掲げています。“心不全は集学的・集約的に予防できる、せねばならない”との熱いメッセージをメディカル・コメディカルに届けます。もはや、心不全は、救命・救急施設やカテーテル診療施設の範囲を超えました。ましてや占有物ではありません。長寿社会の正面課題として、実地医家は言うに及ばず、地域診療を支援するコメディカル、社会復帰を促す心リハチーム、介護やターミナルケアの現場を含めた厄介な解決すべき課題です。新しい厚生指数によれば、既に65歳以上の高齢者はわが国の20%を超えました。今後50年間は、この高齢者比率は直線的に上昇するでしょう。やがて2050年には40%近くまでに達すると見積もられます。心不全がもたらす高い負担を患者、家族、社会、それに世界に強いる医療パラダイムはもはや先進国といえども、日本といえども耐えられません。たとえ、慢性心不全のような多疾患に病む患者であっても、よいQOLと関連な生活を楽しむ高齢者の創生が求められているのです。加齢と緊密に関連する心血管病の診療もこのような観点から見直す必要があるでしょう。すなわち、心不全の発症や再発を予防する医学・医療の構築と展開です。私はこのような認識と姿勢をもって、志を同じくする仲間とともに叡智を結集してきました。第10回日本心不全学会のプログラミンはこうして行われました。10月13日の金曜日は、老化予防の観点から基礎的研究が語られます。14日には、むしろ循環器専門医や病院スタッフに求められる内容が多いでしょう。そして、最終日の日曜日、15日には第一線で活躍する実地医家やコメディカルの皆さんが大いに満足できる内容を配置しました。いろいろな角度から、ご自分の立場や役割に見合ったプログラムが選択できると思います。この3日間を“心不全を予防する”で大いに楽しんで頂きたい。心からそう願っている次第です。

- シンポジウム
1. 心不全薬物療法の新たな展開 (New Pharmacological Strategies for Heart Failure)
  2. 心不全管理における心血管イメージングの活用 (Cardiac Imaging for HF Management)
  3. メタボリックシンドロームと心不全 (Metabolic Syndrome and Heart Failure)
  4. 心不全治療における多面的介入 (Multidisciplinary Heart Failure Management)

- ジョイントシンポジウム  
(第25回日本心臓移植研究会との合同開催)
- ・心肺補助循環 (Circulatory Assist Device)

- パネル・ディスカッション
1. アンジオテンシン受容体に関する新しい話題 (New Aspects of AT1 Receptor)
  2. 心不全と老化 (Aging and Heart Failure)
  3. コメディカルプログラム (1) -心不全の急性期管理におけるコメディカルの役割と今後の展望 Co-medical Program (1) : Co-medical Role in the Management of Acute Heart Failure and its Development
  4. 心不全における疫学研究 (Epidemiology of Heart Failure)
  5. コメディカルプログラム (2) -心不全の慢性期管理におけるコメディカルの役割と今後の展望 Co-medical Program (2) : Co-medical Role in the Management of Chronic Heart Failure and its Development

特別企画

1. 改訂版「心不全治療ガイドライン」概説  
Introduction and Understanding of new Therapeutic Guideline for Heart Failure
  - 1) 急性心不全ガイドライン  
Guideline for Acute Heart Failure
  - 2) 慢性心不全ガイドライン  
Guideline for Chronic Heart Failure
2. 第10回開催記念プログラム  
The 10th Anniversary Program  
アジア心不全カンファレンス  
(Asian Conference of Heart Failure)  
後援：日本学術会議
3. アフタヌーンセッション 1  
"Management of Chronic Heart Failure  
- 武田Case Conference -"
4. アフタヌーンセッション 2  
"Management of Acute Heart Failure  
- アステラスCase Conference -"

教育講演

1. 実践臨床へのPressure-volume Loopの応用  
(Application of Pressure-volume Loop for Clinical Practice)
2. 心不全診療における心筋生検の役割  
(The Role of Cardiac Biopsies in the Heart Failure Management)
3. 心サルコイドーシスをいかに見逃さないか、いかに治療するか  
(How to Detect and to Treat Cardiac Sarcoidosis)
4. 心不全管理における心筋障害マーカーの活用法  
(Availability of Cardiac Biomarker to Manage Heart Failure)
5. 心不全治療での服薬コンプライアンス向上の方法論  
(How to Improve Drug Compliance in Clinical Practice of Heart Failure)
6. 心不全における栄養指導のコツ  
(Education by Dietitians in Patients with Heart Failure)

一般演題

1. 口演 (選抜) 28 題
2. ポスター演題 160 題
3. YIA演題 6 題
4. パイエル循環器病研究助成  
第13回研究発表会 4 題

その他

ペーシングによる心不全治療 (CRT/ICD/CRT-D)  
研修セミナー  
日時：平成18年10月13日 (金) 10:00~17:15  
会場：都市センターホテル 3F「コスモス2」

内容

- ICD基礎
  - 心臓突然死とICDの植込み基準
  - ICD植込み手技の実際
  - ICDの条件設定とフォローアップ
- CRT基礎
  - CRTの概念と有効性、適応基準
  - CRT植込み手技の実際
  - CRTの条件設定とフォローアップ
- ICD, CRT応用
  - ICD, CRT, CRT-Dの植込み適応
  - ICD, CRT植込み手技-応用編(ケーススタディ含む)
  - CRTセルフアセスメントテスト
  - 社会的問題 (運転・就労)
  - ICDの最近の進歩
  - ICDのトラブルシューティング
  - ICDセルフアセスメントテスト
- 教育講演
  - 心不全と突然死
  - AEDと心蘇生

条件を満たす受講者に対して、日本心不全学会・日本不整脈学会連名の「CRT研修証」および「ICD研修証」を発行します。研修証の有効期限は4年間です。

第11回 La Jolla-Capri-Yamaguchi-Seoul Research Conference案内

会長 松崎 益徳  
(山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学)

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。2006年10月6日(金)から8日(日)の3日間、山口県萩市におきまして第11回 La Jolla-Capri-Yamaguchi-Seoul Research Conferenceを開催させていただくこととなり、鋭意準備を進めております。本カンファレンスはUniversity of Rome, Gianluigi 教授、University of California San Diego, Ross教授とPeterson教授、Seoul National University, Oh教授ならびに山口大学・松崎を組織委員として二年に一度開催されている国際研究会であります。1984年にJohn Ross教授 (University of California San Diego) により始められ、本邦では当時の京都大学医学部第三内科 河合忠一教授、篠山重威教授も会長を務められたことのある、歴史のある国際会議です。前々回のLa Jolla (米国、カリフォルニア州) での開催から篠山重威先生の後任として、山口大学・松崎が日本の組織委員をさせていただいております。今回で開催は11回目であり、私が組織委員長を承っております。

“Basic Concepts and New Therapeutic Strategies in Intractable Heart Disease from Bench to Clinic”をテーマに心臓病の新しい治療法に関するトランスレーショナルリサーチの研究成果を集約するプログラム構成とさせていただきました。国内外の第一線の研究者に、分子生物学を駆使して得られた治療ターゲットについて今までの心不全治療薬との関連をふまえて発表していただき、今後の心不全治療をどのように確

立するか議論をする機会とさせていただきたいと考えております。各セッションの企画内容は現在使用されている心不全治療法であるアンギオテンシン受容体拮抗薬、β遮断薬などに関連した話題や心臓同期療法、植え込み型除細動装置に関連した話題など日常診療に役立つテーマから、今後の新しい心不全治療の基礎となる実験研究の知見を網羅したセッションの構成を企画しました。心臓病の基礎、臨床研究分野の先生方の多数の参加をお待ちしております。

国際会議概要

会期：平成18年10月6日(金)～8日(日)  
会場：北門屋敷、山口県萩市  
<http://www2.convention.co.jp/jcys2006/>  
会議参加費：一般参加 10,000円  
大学院生、ポスドク、海外からの留学生 5,000円  
学部学生 無料

第11回 La Jolla-Capri-Yamaguchi-Seoul Research Conference 事務局  
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1  
山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学内  
TEL: 0836-22-2248, 0836-22-2246  
E-mail: [jcys2006@convention.co.jp](mailto:jcys2006@convention.co.jp)

## Program at a Glance

Friday, October 6, 2006

	Room 1	Room 2
15:00	Opening Remarks	
16:00	Controlling Ca <sup>2+</sup> Homeostasis	
17:00	Signaling Associated with Cardiac Remodeling	
18:00	Special Lecture	
19:00	Special Lecture	
20:00		
21:00	Welcome Reception for Invited Speakers and Chairpersons at Tomoe Hotel	

Saturday, October 7, 2006

	Room 1	Room 2
8:00	Controlling Intracardiac Cell Signaling	
9:00	Development and Stem Cell Biology	
10:00	Luncheon: Metabolic Syndrome and Heart	
11:00	Angiogenesis/Gene Therapy /Molecular Therapy	
12:00	Special Session	
13:00		
14:00		
15:00		
16:00	Poster Session	
17:00		
18:00		
19:00		
20:00	Reception For All Attendees at Hokumon Yashiki Hotel (Basement Floor)	
21:00		

Sunday, October 8, 2006

	Room 1	Room 2
8:00	Non-Pharmacological Treatment for Severe Heart Failure	
9:00	Heart Failure and Associated Pathophysiology	
10:00	Luncheon: Statins for Treatment of Chronic Heart Failure	
11:00		
12:00	Closing Remarks	

## 第1回国際心筋症・心不全学会案内

第1回国際心筋症・心不全学会  
The 1st International Congress of  
Cardiomyopathies and Heart Failure  
会長 松森 昭  
(京都大学大学院医学研究科循環器内科学)

初秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび世界心臓連合臨床心臓病理事会 (WHF, Council on Clinical Cardiology) 心筋症・心不全特別委員会 (Task Force on Cardiomyopathies and Heart Failure: Chairman, Akira Matsumori) の委員 Akira Matsumori, Dr. Peter Liu, Dr. Bernhard Maisch, Dr. Jefferey A. Towbin, Dr. William J. McKenna が中心となり国際心筋症・心不全学会 (International Society of Cardiomyopathies and Heart Failure, ISCHF, www.isCHF.org) を設立することになり、準備を進めて参りましたが、本学会はWHFの International Associate Member として承認されました。ISCHF は心筋症・心不全に関する病因・病態・診断・治療の臨床的ならびに基礎的研究を推進するため、国際学会の開催、国際的な共同研究のためのタスクフォース、ワーキンググループの形成を目的としています。また、これらの活動により、国際レジストリー、診断基準の作製・治療・予防法の標準化などとともに、国際的な教育プログラムの実施を目標としています。その第1回の学術集会として、2007年3月10日(土)から3月13日(火)まで、国立京都国際会館にて第1回国際心筋症・心不全学会を開催する運びとなり、鋭意準備を進めております。

本学術集会は、WHFのほか、International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy、日本循環器学会、日本心臓財団、国際心筋症ネットワークの後援を得ております。本学術集会は、心筋症と心不全に関するあらゆる最新知見を紹介し、討議することを目的とし、心筋症と心不全の病因・病態・診療治療に関する臨床を中心とした最先端の知見が紹介され、国内外から集まる多数の専門家により活発に討議される予定であります。第71回日本循環器学会学術集会の開催の直前であり、皆様御多忙のこととは存じますが多数の先生方の御参加をお待ちしております。

## 国際会議概要

- 主催  
国際心筋症・心不全学会 (ISCHF)  
International Society of Cardiomyopathies and Heart Failure  
President: Akira Matsumori, Kyoto, Japan  
President Elect: Peter Liu, Toronto, Canada  
Vice President: Jeffrey A. Towbin, Houston, USA  
Secretary: Bernhard Maisch, Marburg, Germany  
Treasurer: William J. McKenna, UK
- 組織委員  
Congress Organizing Committee  
President: Akira Matsumori, Kyoto, Japan  
Honorary Advisory Board  
C. Kawai, Kyoto, Japan  
A. Kawamura, Kusatsu, Japan  
A. Kitabatake, Amagasaki, Japan  
S. Sasayama, Kyotanabe, Japan  
M. Sekiguchi, Tokyo, Japan  
T. Sugimoto, Tokyo, Japan  
Y. Yazaki, Tokyo, Japan  
Executive Committee  
T. Izumi, Sagamihara, Japan  
Y. Kitaura, Takatsuki, Japan  
P. Liu, Toronto, Canada  
B. Maisch, Marburg, Germany  
W. J. McKenna, London, UK  
T. Shimada, Izumo, Japan  
J. A. Towbin, Houston, USA  
S. M. Tracy, Omaha, USA  
International Scientific Advisory Board  
86名  
National Organizing Committee  
143名

3. 開催期間  
平成19年3月10日(土)から平成19年3月13日(火)まで
4. 会場  
国立京都国際会館  
(〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池  
電話: 075-705-1234)  
<http://www.kich.or.jp/jp/index.html>
5. 参加費  
一般参加 2月20日まで 25,000円  
2月21日以降 30,000円  
一般演題発表者 10,000円  
学生 10,000円
6. 事務局  
第1回国際心筋症・心不全学会事務局  
〒606-8507  
京都市左京区聖護院川原町54  
京都大学大学院医学研究科循環器内科学  
TEL: 075-751-3186  
FAX: 075-751-6477

## 演題募集

一般演題はすべてポスター発表となります。  
演題受付はISCHFのホームページ <http://www.ischf.org>  
にて行っております。  
締切は2006年11月30日となっております。

## プログラム

## Sunday, March 11

## Opening Ceremony

- Greetings : A. Matsumori, Kyoto  
K. Oike, Kyoto  
S. Sheikh, Pakistan  
S. Smith, USA  
T. Yamaguchi, Tokyo  
C. Kawai, Kyoto  
T. Sugimoto, Tokyo

## WHF President's Lecture

- Chairpersons : S. Smith, USA,  
A. Kitabatake, Amagasaki  
"Challenges ahead" S. Sheikh,  
Pakistan

## President's Lecture

- Chairpersons : E. Escobar, Chile,  
S. Sasayama, Kyotanabe  
"Cardiomyopathies and heart failure :  
New insights into pathogen-

esis and treatment"  
A. Matsumori, Kyoto

## Symposium 1 : Diagnosis and treatment of myocarditis

- Chairpersons : H. Fujiwara, Gifu,  
M. Isobe, Tokyo  
Detection of deleted enterovirus genomic RNA : Persistent enterovirus infection  
S. Tracy, USA  
Recent understanding of pathogenesis of myocarditis  
P. Liu, Canada  
Diagnosis and treatment of fulminant myocarditis  
T. Izumi, Sagamihara  
Detection of enterovirus genomic RNA in Japan  
Y. Kitaura, Takatsuki  
Role of tenascin in the pathogenesis and diagnosis of myocarditis  
M. Hiroe, Tokyo

## Symposium 2 : Dilated cardiomyopathy : Pathogenesis and treatment

- Chairpersons : H. Tomoike, Suita,  
M. Komeda, Kyoto  
European registries of cardiomyopathies and intermediate analysis of the ESETCID Trial  
B. Maisch, Germany  
Interferon therapy in viral heart disease  
H.P. Schultheiss, Germany  
Advanced heart failure : Pathogenesis and treatment  
T. Toyooka, Sendai  
Volume reduction therapy for dilated cardiomyopathies and heart failure  
H. Suma, Tokyo

## Monday, March 12

## Symposium 3 : Hypertrophic cardiomyopathy : Genetics and management

- Chairpersons : H. Kawaguchi, Sapporo,  
R. Matsuoka, Tokyo  
Molecular pathogenesis of car-

diomyopathies of Japan  
A. Kimura, Tokyo  
Ventricular remodeling of hypertrophic cardiomyopathy  
Y. Doi, Kochi  
Risk factors of death for Japanese HCM patients  
T. Imaizumi, Kurume  
Treatment of hypertrophic cardiomyopathy  
W.J. McKenna, UK

## Symposium 4 : Arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy and specific cardiomyopathies

- Chairpersons : H. Kasanuki, Tokyo,  
M. Horie, Otsu  
Recent advances in ARVC/D  
F. I. Marcus, USA  
Registry of ARVC in Japan  
K. Kajimoto : Tokyo  
"Takotubo cardiomyopathy" A new entity of cardiomyopathy or transient injury?  
S. Kawai, Tokyo  
Cardiac sarcoidosis : Update  
S. Morimoto, Toyooka  
Fabry's disease as a manifestation of cardiomyopathy  
S. Nakao, Kagoshima

## Symposium 5 : Biomarkers in heart failure and cardiomyopathies

- Chairpersons : M. Matsuzaki, Ube,  
Y. Saito, Nara  
Role of biomarkers for the therapy decisions and monitoring of heart failure  
M. Richards, New Zealand  
Use of biomarkers for the detection of heart failure in health screening  
T. Shimada, Izumo  
Inflammatory biomarkers in heart failure  
T. Tsutamoto, Otsu  
Comprehensive and collective approaches to find new pathophysiology or effective treatment of chronic heart failure from genomic or clinical database

M. Kitakaze, Suita

## Symposium 6 : ISCHF/ISCP Joint symposium : Heart failure : Epidemiology and prevention

- Chairpersons : D. Kelly, Australia,  
S. Ogawa, Tokyo  
Epidemiology and prevention of heart failure  
M. Maranhao, Brazil  
Heart failure : A growing epidemic in China  
D. Hu, China  
Heart failure in Asia and Pacific countries  
B-H. Oh, Korea  
Sudden death and heart failure  
A. Bayes, de Luna, Spain

## Symposium 7 : Treatment of heart failure 1

- Chairpersons : S. Momomura, Saitama,  
U. Ikeda, Matsumoto  
New therapies for the management of heart failure  
P. Pool-Wilson, UK  
Acute heart failure : Patient management of growing epidemic  
G. Francis, USA  
Exercise therapy for chronic heart failure  
Y. Goto, Suita  
Thermal therapy for heart failure  
C. Tei, Kagoshima

## Tuesday, March 13

## Symposium 8 : Treatment of heart failure 2

- Chairpersons : M. Hori, Suita,  
R. Nagai, Tokyo  
Pathogenesis and prevention of heart failure  
D. Mann, USA  
Optimal pharmacological treatment of chronic heart failure  
K. Swedberg, Sweden  
Treatment of heart failure in the elderly  
A. J. Coats, Australia  
Managing heart failure patients with implanted devices  
A. Feldman, USA

**Symposium 9 : Cardiomyopathies and heart failure : Future perspective**

Chairpersons : I. Komuro, Chiba,  
N. Takeda, Tokyo

Lymphangiogenesis in cardiomyopathies and heart failure

R. Nishio, Kyoto

Infection and genetics of cardiomyopathies : How to treat patients?

J. Towbin, USA

The electrocardiogram : Normal is not what you think it is.

J. W. Mason, USA

**Program (Tentative)**

Saturday, March 10	Sunday, March 11	Monday, March 12	Tuesday, March 13
<b>Morning</b>			
	Morning satellite program Opening Ceremony Symposium 1 Diagnosis and treatment of myocarditis	Morning satellite program Symposium 3 Hypertrophic cardiomyopathy: Genetics and management Symposium 4 Arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy and specific cardiomyopathies	Morning satellite program Symposium 6 ISCHF/ISCP Joint Symposium Heart failure: Epidemiology and prevention Symposium 7 Treatment of heart failure 1
<b>Afternoon</b>			
Satellite program	Luncheon satellite program Symposium 2 Dilated cardiomyopathy: Pathogenesis and treatment Poster session Satellite program	General Assembly Luncheon satellite program Symposium 5 Biomarkers in heart failure and cardiomyopathies Poster session Satellite program	Luncheon satellite program Symposium 8 Treatment of heart failure 2 Symposium 9 Cardiomyopathies and heart failure: Future perspective Closing Remarks
<b>Evening</b>			
Fellowship Evening		Gala Dinner	

**第71回日本循環器学会総会・学術集会案内**

第71回日本循環器学会総会・学術集会案内  
会長 横山 光宏  
(神戸大学大学院医学系研究科  
循環呼吸器病態学 教授)

**日本循環器学会総会・学術集会概要**

第71回学術集会では「国際化時代の循環器病学の新たな展開」をメインテーマとして皆様に高い関心を持って頂ける色々なプログラムを企画しました。美甘レクチャー (Peter Libby博士)、真下記念講演 (高井 義美 博士)、特別講演 (Burton E. Sobel 博士、Joseph Loscalzo 博士、David G. Harrison博士、Thomas Quertermous博士)、プレナリーセッション、シンポジウム、外国学会とのJoint Symposium、ラウンドテーブルディスカッション、トピック、コントローバーシー、ミート・ザ・エキスパート、モーニングレクチャー、コメディカルセッションなどを行います。また、オリジナルな臨床と基礎研究成果が一般演題で発表されます。心不全に関連するテーマも薬物および非薬物治療を中心に数多く取り上げられています。本学会が最新の医学医療に関する知識と技術の情報交換を通じて実り多い学術集会になることを期待しています。2006年2月神戸空港のオープンによって益々交通の便がよくなり、風光明媚で世界の食文化をエンジョイできます神戸の学術集会に出来るだけ多くの方々の参加をお待ちしています。

会 期：2007年3月15日(木)、16日(金)、17日(土)  
会 場：神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル他  
会 長：横山 光宏

神戸大学大学院医学系研究科  
循環呼吸器病態学 教授  
事務局：神戸大学大学院医学系研究科  
循環動態医学講座 循環呼吸器病態学  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1  
T E L : 078-382-5754  
F A X : 078-382-5859  
U R L : <http://www.congre.co.jp/jcs71>  
E-mail : [jcs71@med.kobe-u.ac.jp](mailto:jcs71@med.kobe-u.ac.jp)

運営準備室：  
株式会社コングレ 大阪本社内  
〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13  
コングレビルディング5F  
T E L : 06-6229-2575  
F A X : 06-6229-2556  
E-mail : [71junkan@congre.co.jp](mailto:71junkan@congre.co.jp)

日本循環器学会事務局：  
〒604-8172 京都市中京区烏丸通  
姉小路下る場之町599番地 CUBE OIKE 8F  
U R L : <http://www.j-circ.or.jp>

プレナリーセッション

1. 急性冠症候群における侵襲的治療戦略
2. 動脈硬化研究の最近の進歩
3. 心房細動の集学的治療戦略
4. 抗心不全薬の新たな展開  
—ファーマコゲノミクスと創薬
5. 腎・高血圧と心疾患
6. 組織工学を用いた再生治療
7. 慢性期の心臓リハビリテーション療法
8. 本邦における臨床試験の現状と課題
9. 新たなるナノテクノロジーとは？

シンポジウム

1. 冠動脈疾患のNew Evidence-病態、診断、治療
2. 動脈硬化安定化への治療戦略
3. 心不全と不整脈
4. 肺高血圧の診断と治療
5. 我が国における再生治療の臨床試験
6. 3次元画像診断の進歩
7. DPCと循環器診療
8. 小児心疾患の画像診断：最近の進歩と問題点
9. 女性医師の雇用問題を探る
10. 糖尿病性心血管病の特徴と新たな治療
11. 循環器領域における医療の質的管理と臨床指標

ジョイントシンポジウム

1. AHA-JCS Joint Symposium  
Cardiac Hypertrophy and Heart Failure
2. ACC-JCS Joint Symposium  
Detection and Treatment of Vulnerable Patients
3. ESC-JCS Joint Symposium  
Pathophysiology and Clinical Aspect of  
Takotsubo Disease
4. APSC-JCS Joint Symposium  
Non-Pharmacological Therapy for Chronic  
Heart Failure

**2007 KOBE**

国際化時代の  
循環器学の新たな展開

**演題応募**

●一般演題 公募
2006年8月1日(火)～10月3日(火)正午 新規登録締切り
10月4日(水)正午 修正締切り

●プレナリーセッション、シンポジウム
2006年8月1日(火)～8月30日(水)正午 新規登録締切り
8月31日(木)正午 修正締切り

# 第71回 日本循環器学会総会・学術集会

会期：2007 3/15(木)・16(金)・17(土)

会場：神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸商工会議所、神戸ポートピアホテル

会長：横山 光宏 (神戸大学大学院医学系研究科 循環呼吸器病態学 教授)



事務局 神戸大学大学院医学系研究科 循環器病態学講座 循環呼吸器病態学  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 TEL: 078-382-5754 FAX: 078-382-5859 URL: <http://www.congre.co.jp/jcs71> E-mail: [jcs71@med.kobe-u.ac.jp](mailto:jcs71@med.kobe-u.ac.jp)

運営準備室 株式会社コングレ 大阪本社内  
〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 コングレビルディング5F TEL: 06-6229-2575 FAX: 06-6229-2556 E-mail: [71juncan@congre.co.jp](mailto:71juncan@congre.co.jp)

### 2006年度日本心不全学会・総会

## 議案書

日 時：2006年10月14日(土) 13時35分～14時05分  
 会 場：都市センターホテル 第1会場 コスモス1  
 議 長：和泉 徹会長

#### 議事次第

1. 各委員会報告
2. 第11回学術集会について
3. 第12回学術集会について
4. その他

#### 審議事項

1. 2005年度決算書並びに監査報告について
2. 2007年度予算書案について
3. 第13回会長の選出
4. その他

#### 委員会報告 会員数の推移

年 月	正会員A入会	正会員A退会	正会員B入会	名誉会員	特別会員	賛助会員入退会	合 計
96.12	241						241
97.1	262						503
97.2	43					4	550
97.3	18	1				2	569
97.4	72	1				6	646
97.5	17					2	665
97.6	11					2	678
97.7	9					2	689
97.8	4					7	700
97.9	32					4	736
97.10	99					2	837
97.11	1						838
97.12	3					-1	840
98.1	2						842
98.2	0						842
98.3	1	8					835
98.4	1	1					835
98.5	9	5					839
98.6	4	2					841
98.7	1	1					841
98.8	1	1					841
98.9	38						879
98.10	78						957
98.11	1	2					956
98.12	1	1					956
99.1	1	1					956
99.2	4	1					959
99.3	1	7					953
99.4	9	6				-1	955
99.5	3	1					957
99.6	2	3				-1	955
99.7	1	6					950
99.8	1	3					948
99.9	4	5					947
99.10	20	1					966
99.11	1	5					962
99.12	1	4					959
00.1	0	2					957
00.2	0	0					957
00.3	1	15				-1	942
00.4	5	4				-1	942
00.5	2	1					943
00.6	1	4					940
00.7	3	1					942
00.8	1	0					943
00.9	0	0					943
00.10	10	1					952
00.11	15	4					963
00.12	2	2					963
01.1	1	2					962
01.2	4	2					964
01.3	5	24					945
01.4	4	3					946
01.5	11	1					956
01.6	6	2					960
01.7	6	2				-2	962
01.8	2	0					964
01.9	2	0					966
01.10	11	4					973
01.11	0	1					972
01.12	0	0					972
02.1	1	0					973



年 月	正会員A入会	正会員A退会	正会員B入会	名誉会員	特別会員	賛助会員入退会	合 計
02.2	1	3					971
02.3	3	20				-1	953
02.4	3	6					950
02.5	3	1					952
02.6	1	7					946
02.7	0	2					944
02.8	2	4					942
02.9	4	2					944
02.10	12	0					956
02.11	0	3					953
02.12	0	4					949
03.1	0	1					948
03.2	0	1					947
03.3	2	10					939
03.4	3	6					936
03.5	20	4					952
03.6	37	6					983
03.7	19	2					1000
03.8	6	1					1005
03.9	10	1					1014
03.10	27	0		7			1048
03.11	0	1					1047
03.12	2	4		-1			1044
04.1	1	2					1043
04.2	1	2					1042
04.3	2	17				-1	1026
04.4	9	14					1021
04.5	27	1					1047
04.6	13	3				1	1058
04.7	5	1					1062
04.8	3	1					1064
04.9	1						1065
04.10	3						1068
04.11	1						1069
04.12	1					-1	1069
05.1	1	1					1069
05.2	2	8				-1	1062
05.3	3	4					1061
05.4	2	1					1062
05.5	37	1					1098
05.6	10	1					1107
05.7	3	1					1109
05.8	7						1116
05.9	7						1123
05.10	10	7					1126
05.11	1	0					1127
05.12	2	11					1118
06.1	0	18					1100
06.2	4	2					1102
06.3	6	4					1104
06.4	8	21	3	3			1097
06.5	51	5	28				1171
06.6	32	0	21				1224
06.7	16	2	5				1243
06.8	20	0	1				1264

名誉会員 9名  
 正会員A 1176名  
 正会員B 58名  
 賛助会員 21社

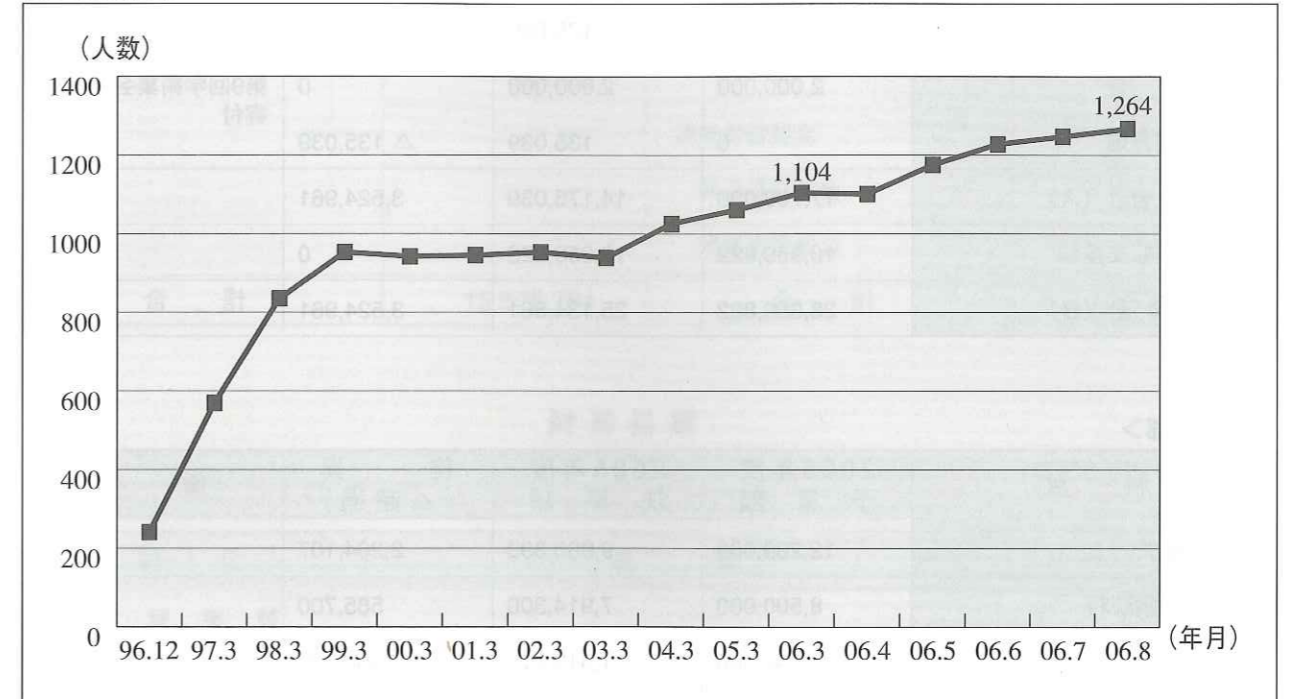
2006年8月31日現在

地区別会員数 (2006年8月末現在)

	北海道	東北	関東	中部	甲信越	関西	中国	四国	九州	合 計
正会員 A	67	67	312	108	73	268	81	44	105	1125
正会員 B		3	35	7	3	7			3	58
名誉会員			2	1	1	3		1	1	9
賛助会員			15			6				21

住所不明51名

会員数の推移



審議事項 1.

日本心不全学会2005年度決算書

(2005年4月1日～2006年3月31日)

<収入の部>

科目	2005年度 予算額	2005年度 決算額	差異 (△超過)	備考
会費収入	12,700,000	11,040,000	1,660,000	
正会員会費	8,700,000	7,040,000	1,660,000	会費納入率 67.0%
賛助会員会費	4,000,000	4,000,000	0	20社
広告掲載料収入	3,000,000	1,000,000	2,000,000	ニュースレター
雑収入	2,000,000	2,135,039	△ 135,039	
寄付金	2,000,000	2,000,000	0	第9回学術集会からの寄付
受取利息他	0	135,039	△ 135,039	
当期収入合計 (A)	17,700,000	14,175,039	3,524,961	
前期繰越収支差額	10,959,822	10,959,822	0	
収入合計 (B)	28,659,822	25,134,861	3,524,961	

<支出の部>

科目	2005年度 予算額	2005年度 決算額	差異 (△超過)	備考
刊行事業費	12,200,000	9,935,893	2,264,107	
JCF購読料	8,500,000	7,914,300	585,700	
JCF/ニュースレター送料	1,500,000	1,013,010	486,990	
ニュースレター編集制作費	2,200,000	1,008,583	1,191,417	9-2~4
学術集会費	700,000	700,000	0	第9回学術集会
予稿集発行負担金	500,000	500,000	0	
予稿集送料	200,000	200,000	0	
管理費	3,350,000	2,975,698	374,302	
委託費	2,000,000	2,467,888	△ 467,888	
ホームページ委託費	200,000	147,000	53,000	
会議費	500,000	0	500,000	
通信費	300,000	155,410	144,590	
印刷費	200,000	79,403	120,597	
雑費	150,000	125,997	24,003	
当期支出合計 (C)	16,250,000	13,611,591	2,638,409	
当期収支差額 (A-C)	1,450,000	563,448	886,552	
次期繰越収支差額 (B-C)	12,409,822	11,523,270	886,552	

貸借対照表

日本心不全学会

2006年3月31日現在

(単位:円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
郵便振替	10,290,000	前受会費	10,000
普通預金	2,936,781	未払費用	2,043,511
未収入金	350,000	次年度繰越金	11,523,270
		前年度繰越金	10,959,822
		当年度繰越金	563,448
合計	13,576,781	合計	13,576,781

財産目録

2006年3月31日現在

(単位:円)

資産の部

科目	摘要	金額
郵便振替		10,290,000
普通預金	三菱東京UFJ銀行/茨木支店	2,936,781
未収入金	広告料他	350,000
資産合計		13,576,781

負債の部

科目	摘要	金額
前受会費	2006年度以降分会費	10,000
未払費用	ニュースレター制作費・JCF送料委託費他	2,043,511
負債合計		2,053,511

収支決算書および財産目録に記載された内容及び金額は上記の通り相違ありません。

2006年 月 日

監事 砂川 賢二 印

監事 藤田 正俊 印

審議事項 2.

日本心不全学会2007年度予算書(案)

(2007年4月1日~2008年3月31日)

<収入の部>

科 目	2007年度 予 算 書	2006年度 予 算 書	備 考
会 費 収 入	13,838,000	12,900,000	
正会員A会費	9,464,000	8,700,000	会費納入率 80%
正会員B会費	174,000	—	58名×3000円
賛助会員会費	4,200,000	4,200,000	21社
セミナー収入	1,000,000	—	
広告掲載料収入	1,600,000	3,000,000	ニュースレター
雑 収 入	2,000,000	2,000,000	
寄 付 金	2,000,000	2,000,000	
受取利息他	0	0	
当期収入合計 (A)	18,438,000	17,900,000	
前期繰越収支差額	11,523,270	9,572,075	2005年度繰越金とした
収入合計 (B)	29,961,270	27,472,075	

<支出の部>

科 目	2007年度 予 算 書	2006年度 予 算 書	備 考
刊行事業費	11,600,000	12,200,000	
J C F購読料 (vol.13 No.1-6)	9,000,000	8,500,000	年6冊
J C F・ニュースレター送料	1,000,000	1,500,000	年4回
ニュースレター編集制作費	1,600,000	2,200,000	年4回
学術集会費	700,000	700,000	
予稿集発行負担金	500,000	500,000	
予稿集送料	200,000	200,000	
セミナー費	1,000,000	—	
管 理 費	3,650,000	3,350,000	
委 託 費	2,300,000	2,000,000	
ホームページ委託費	200,000	200,000	
会 議 費	500,000	500,000	
通 信 費	300,000	300,000	
印 刷 費	200,000	200,000	
雑 費	150,000	150,000	
当期支出合計 (C)	16,950,000	16,250,000	
当期収支差額 (A-C)	1,488,000	1,650,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	13,011,270	11,222,075	

審議事項 3.

第13回学術集会会長候補者の選出について

- 次回・次々回/歴代会長  
平成20年度(2008年)  
第12回会長 小川 聡 慶應義塾大学医学部内科
- 平成19年度(2007年)  
第11回会長 友池 仁暢 国立循環器病センター
- 平成18年度(2006年)  
第10回会長 和泉 徹 北里大学医学部循環器内科学
- 平成17年度(2005年)  
第9回会長 松 益徳 山口大学大学院医学研究科デジタル情報制御医学  
講座器官病態内科学
- 平成16年度(2004年)  
第8回会長 藤原 久義 岐阜大学大学院医学研究科再生医科学循環病態学  
呼吸病態学第二内科
- 平成15年度(2003年)  
第7回会長 堀 正二 大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学
- 平成14年度(2002年)  
第6回会長 永井 良三 東京大学医学部循環器内科学
- 平成13年度(2001年)  
第5回会長 白土 邦男 東北大学医学部第一内科
- 平成12年度(2000年)  
第4回会長 横山 光宏 神戸大学医学部内科学第一講座
- 平成11年度(1999年)  
第3回会長 竹下 彰 九州大学医学部循環器内科
- 平成10年度(1998年)  
第2回会長 北畠 顕 北海道大学医学部循環器内科
- 平成9年度(1997年)  
第1回会長 篠山 重威 京都大学医学研究科循環器病態学

(所属:在任時)

## 第11回日本心不全学会学術集会

会 期 2007年9月9日(日)～10日(月)  
 会 場 ヒルトン東京ベイ (千葉県浦安市舞浜)  
 会 長 友池 仁暢 (国立循環器病センター)  
 事務局 北風 政史 (国立循環器病センター心臓内科)  
 事 務 局 日本コンベンションサービス株式会社関西支社  
 〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7  
 京阪神不動産淀屋橋ビル4階  
 T E L : 06-6226-9005 / FAX : 06-6221-5938  
 E-mail : 11jhfs@convention.co.jp  
 U R L : www2.convention.co.jp/11jhfs

## 学会カレンダー(2006年)

開催日(2006年)	学会名	会 長	所 属	会 場
9月25日～27日	第54回日本心臓病学会学術集会	鄭 忠和	鹿児島大学	鹿児島市民文化ホール
10月1日～4日	第59回日本胸部外科学会定期学術集会	高本 眞一	東京大学	東京国際フォーラム
10月31日～11月2日	第44回日本人工臓器学会大会	野一色泰晴	横浜市立大	パシフィコ横浜

## 日本心不全学会入会のご案内

本学会は、心不全ならびにこれらに関連する分野の研究発表の場を提供し、知識や情報交換を行うことによって心不全に関する研究を推進し、わが国における医学の発展に寄与することを目的としております。平成8年に設立され、今年で10年目が経過いたしました。本会の更なる充実に向け、会員の増強を行っております。

ご入会を希望される方がおりましたら、是非ご紹介くださいますようお願いいたします。

## ▶ 入会手続き

本会ホームページ <http://www.jhfs.gr.jp/> よりオンライン入会申込書をクリックしていただき、ご入力してください。

- ・正会員A 年会費 10,000円
  - ・正会員B (コメディカル) 年会費 3,000円
- ※正会員Bは、ニュースレター(年4回)のみの配布となります。

## ▶ 会員の特典

1. 日本心不全学会と米国心不全学会の共通の機関誌「Journal of Cardiac Failure」が配布されます。
2. ニュースレターが年4回配布されます。

## 日本心不全学会 News Letter Vol. 10, No. 3

2006年9月1日発行

編集・発行 ● 日本心不全学会

〒162-0802 東京都新宿区改代町26-1  
 有限責任中間法人 学会支援機構内  
 TEL : 03-5206-6007  
 E-mail : shinfuzen@asas.or.jp

製作 ● 有限責任中間法人 学会支援機構

〒162-0802 東京都新宿区改代町26-1

memo